

令和7年度 授業改善推進プラン（3年）

台東区立金曾木小学校

教科	観点 課題と思われる観点に○		児童の実態及び課題	授業改善に向けての具体的な方策	方策に対する検証
国語	知識及び技能	言語	・既習の漢字や言葉を適切な場面で正しく使うことが課題である。	・日常的に国語辞典を使用させ、語彙を増やす機会を多く設定する。 ・誤答を直す時間を十分に確保し、児童が間違いを正しく直しきるまで確認する。 ・問題の理解や自分で学習を進めることが難しい児童には、理解の助けとなる資料（活動の順序を示したもの、モデル文等）を用意する。	・50問ワークテストで、正答率90%を8割の児童が達成する。 ・単元末のワークテストで「読む」の正答率85%を8割の児童が達成する。
		言葉			
	思考力・判断力・表現力	話・聞 書く 読む	・問題文を正しく理解して読み、正対した解答をすることが課題である。		
社会	学びに向かう力、人間性等				
	知識及び技能		・地図記号を使って、土地の様子を読み取ることが課題である。 ・資料から必要な情報を読み取ることが課題である。	・地図記号のミニテストを繰り返し行う。 ・他教科においても様々な資料から必要な情報を取り出す学習を設定する。	・単元末のワークテストで「知識及び技能」の正答率85%を8割の児童が達成する。
算数	知識及び技能	数・計 図形 変・関 デ活	・繰り下がりのある計算に苦手意識がある児童が多い。 ・加減乗除の文章問題について、問題文の理解が不十分で正しい答えを導けないことが課題である。	・朝学習で計算問題に取り組ませたり、適宜一人一台端末の学習アプリを活用したりしながら、習熟を図っていく。 ・文章の内容を図に表すことや具体物を用いることを取り入れ、問題場面を正確に捉えさせる。	・単元末のワークテストの「数と計算」領域の正答率85%を8割の児童が達成する。 ・単元末ワークテストで「思・判・表」の正答率85%を8割の児童が達成する。
		数・計 図形 変・関 デ活			
	思考力・判断力・表現力	数・計 図形 変・関 デ活			
理科	学びに向かう力、人間性等				
	知識及び技能		・状態の様子や成長の変化を表す言葉を適切に使って表現することが難しい。	・観察や実験の結果や考察をまとめる時に、例文を示して正しく表現できるようにする。 ・理科で使用する用語を正しく使えるように指導する。	・単元末のワークテストで「知識及び技能」の正答率85%を8割の児童が達成する。
	思考力・判断力・表現力				
	学びに向かう力、人間性等				